

# 希望する山田高校生も給食の対象に

## 児童・生徒数の減少を勘案し今後検討

### 小規模圃場整備事業の

### その後の動きは

### 中核組織を立ち上げ協議

**問** 給食の供給は1日干食、町内の小中学生を対象にすることだが、食育、保護者の利便を図る上でも給食を希望する者に対し、山田高校の生徒も対象とするべきと考えるが。

の大半は山田町民である。この施設を町民は有効に活用すべきと思う。ましてや山田高校は給食センターから近距離にある。このことをどう思うか。

**教育次長** 建設時においての補助対象は義務教育に対しての補助である。高校生に対しては補助対象とはならないが、供給能力、総合能力の余剰が生じた場合は国、県と協議しながら進めることができる。

**問** 給食が開始する32年度は904名の児童生徒数、37年度は837名と近い将来、干食をキープするのは困難と思うが。

**問** 田名部地区の小規模圃場整備事業について、農地の集積についてのアンケートと併せ、土地所有者から事業に対しての意向の確認を実施しているとのことだが、その動きは。

方が景観や住環境にも影響があるので、整備できるのであれば改善したいとの回答であり圃場整備については前向きな回答を得られたと思っております。

**佐々木教育長** 給食センターは32年4月に町内小中学生への供用開始を目指し、建設工事を実施している。現時点で山田高校生への給食の提供は考えていない。

**問** 山田高校の生徒を対象とする場合、補助金の事業計画の変更が求められると思うが、高校生を対象とするのは認められないのかどうか。

**問** 山田高校の生徒を対象とする場合、補助金の事業計画の変更が求められると思うが、高校生を対象とするのは認められないのかどうか。

**教育長** 小中学校の児童生徒数の減少を勘案しながら、今後、山田高校への給食の供給も検討する。

**佐藤町長** アンケートと併せた意向確認調査は、73名を対象に実施しており、回収率が約65%であることから、残る35%の回収に努めながら意見集約を行っていく。

**問** 87%の方が圃場整備をやりたいとのことだが、今後は話し合いが必要である。協議がなければ前に進まないと思うが。

**農林課長** 今後の流れとしては地元で中核となる組織を立ち上げ、協議を重ねながら形をつくっていききたい。

**川口農林課長** 約87%の



議員 佐藤克典 (政和会)



工事が始まった学校給食センター

#### その他の質問

◆私道整備事業の補助率を上げるべきでは